

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

e スポーツのリプレイ解説にアイトラッキング技術を提供

プレイヤーの視点を可視化し、視聴者への新しい体験の提供や、プレイヤーのスキル向上に貢献

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長: 柘植 一郎、本社: 東京都港区、略称: CTC)は、人がどこを見ているかわかるアイトラッキングのグローバルリーダーである、Tobii AB(本社: スウェーデン スtockホルム)の日本法人トビー・テクノロジー株式会社(代表取締役社長: 蜂巣 健一、本社: 東京都品川区、以下: トビー)と共同で、e スポーツのリプレイ解説にアイトラッキング技術を提供し、リアルタイムの視線入り動画配信サービスの導入や活用を支援しました。

対象となった試合は、7月30日(土)、31日(日)に開催された、株式会社NTTドコモ(以下: ドコモ)が運営するe スポーツ「X-MOMENT Rainbow Six Japan League 2022 (RJL 2022)」の大会 Season2 Playoff Stage2 で、アイトラッキングを用いたリプレイ解説は国内で初めてでした。

アイトラッキングとは、眼球の場所と向きを測る生体計測技術で、学術研究や消費者行動の把握、熟練者の技能伝承などに利用されています。Tobii は、2001年に世界初のスクリーンベースアイトラッカーを開発し、現在、アイトラッキングの世界的なリーディングカンパニーです。人の言葉、動き、何に注意を向けているかなどを解釈することによって、機械やデバイスが人を理解できるようにする一連のテクノロジー「アテンション・コンピューティング」を目指しています。

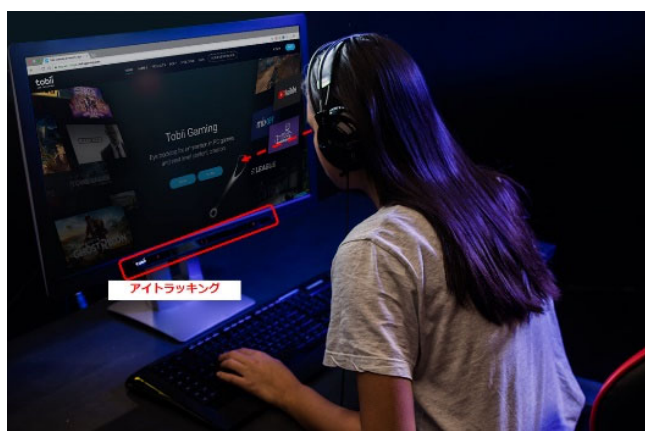
今回、ドコモが運営する e スポーツのブランド X-MOMENT で、プロチームが参加するトップリーグ「X-MOMENT Rainbow Six Japan League 2022 (RJL 2022)」でアイトラッキングを利用しました。7月30日(土)に1回、31日(日)に2回の計3回のアイトラッキングによる解説コーナーを設け、試合中の役割ごとの視線の動かし方を可視化し、高度な技術を深掘した解説となりました。視聴者からは、分かりやすさについてのポジティブなコメントが多く集まり、e スポーツの新たな楽しみ方を提案する機会ともなりました。

また、11月5日(土)、6日(日)には、RJL 2022に参加する国内のプロチームに加えて、韓国とフランスの強豪チームも参加する大会「X-MOMENT Rainbow Six Japan Invitational 2022」が予定されており、アイトラッキングの解説コーナーも設置します。

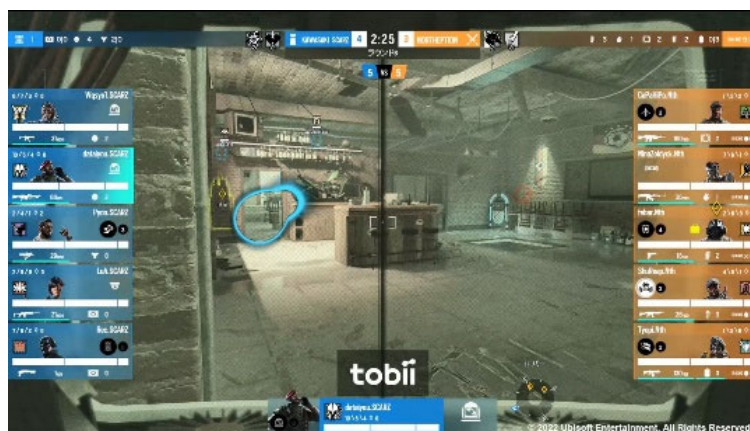
大会 URL: https://x-moment.docomo.ne.jp/r6s/rjl/news/rji_about/

CTC は、頭と目の動き両方をトラッキングできる、トビーのアイトラッキングの導入や活用を通じて、e スポーツでのリアルな感動や熱狂につながるサービスを探求し e スポーツ市場の拡大に貢献するとともに、社会の中でのアイトラッキング技術の活用も追求していきます。

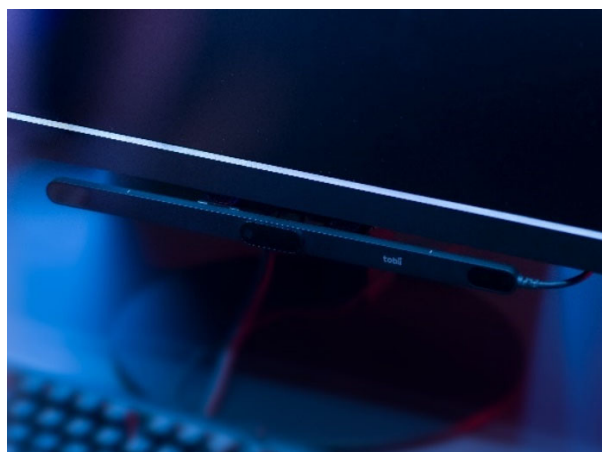
<アイトラッキングの様子(トビー提供)>



アイトラッキングのイメージ



トラッキングの画面投影イメージ



Tobii アイトラッカー5

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp